

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	ベンチャービジネス特論		
英文授業科目名	Advanced Lectures on Venture Business		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電気通信学研究科-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻 情報工学専攻 電子工学専攻 量子・物質工学専攻 知能機械工学専攻 システム工学専攻 人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	野崎 眞次		
居室	西3-506		

公開E-Mail	授業関連Webページ
竹内利明	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>グローバル化、情報化の進展にともない、産業は大きな変革期にある。産業系列や地域割りによる安定的な企業の棲み分けの時代は終わり、企業は世界的な競争環境の中で、世界をリードする新製品、新システムを開発し、常に新しいビジネスを企画していく力が必要となっている。このような産業環境では、大企業が必ずしも安泰ではなく、一方ベンチャー企業がやり方次第でイノベーションの担い手になる機会も増えている。すなわち、これからは企業の規模にかかわらず、起業家精神あるいはベンチャーマインドが非常に重要な時代である。</p> <p>この「ベンチャービジネス特論」は、将来自ら起業を志そうという学生のみならず、大企業への就職を考えている学生にとっても、起業家精神を涵養し、失敗を恐れず新しいことに果敢に挑戦するベンチャービジネスの重要性について、理解することを目標とする。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>なし</p>
------------------------------------------

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>特になし</p>
-------------------------------------------------

<p><b>【教科書等】</b></p> <p>原則として講義前日の昼までに、ウェブページにアップするので、各自プリントまたは各自のパソコン等で閲覧できるようにすること。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

非常勤講師の講義（大教室）及び院生がディスカッション（小教室に分散）して発表するワークショップ形式の授業を組み合わせた形式で講義を構成する（１）授業予定

。（日程、講師は計画で変更の可能性があります）

4月8日（水）「ガイダンス：今なぜ日本でベンチャーが必要なのか」竹内利明

4月15日（水）「ベンチャービジネス」総論 竹内利明

4月22日（水）ワークショップ1

5月13日（水）「モジュール化とベンチャー」内閣府参事官 安藤 晴彦（本学客員教授）

5月20日（水）「ベンチャービジネスの商品企画、マーケティング」 株式会社日本能率協会総合研究所  
M D B 事業本部 事業本部長 石川浩一（本学客員教授）

5月27日（水）ワークショップ2

6月3日（水）（注：時間変更15:30～17:00）産学官連携D A Y in電通大 基調講演を一般公開「次代を創る」衆議院議員 岩國 哲人

6月10日（水）「社会を変える仕事を創る～社会起業家の可能性～」

特定非営利活動法人エティック 代表理事 宮城 治男

6月17日（水）ワークショップ3

6月24日（水）「ゼロからのベンチャーキャピタル創世記」

株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ 代表取締役 村口 和孝

7月1日（水）「ベンチャービジネスの財務」 監査法人トーマツ パートナー 浅枝 芳隆

7月8日（水）ワークショップ4

7月15日（水）「ITベンチャーにおけるスタートアップとイグジット

ヤフー株式会社 メディア事業部 ニュースサービス部長 川邊 健太郎

7月22日（水）「ベンチャー起業失敗論」～潰れなければいつかはチャンスが来る。これだけはやってはいけない事例を紹介～ 株式会社デジタルハリウッド 代表取締役 藤本 真佐

7月29日（水）試験（ベンチャーの基礎知識等）

（２）授業の出席管理とレポート提出

キャリア教育情報システムを活用する。出席管理とレポート提出に、携帯電話のメール機能およびインターネット接続機能を使用する。なお、携帯電話の通信料等は各自の負担となるので、事前に了承のうえ履修すること。

携帯電話を有しない場合でも履修は可能だが、特にレポート提出は各自が講義終了後にPCから入力するなどの対応が求められる。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価法：出席（20%）、レポート（30%）、ワークショップ（30%）試験（20%）を総合して評価する。

評価基準：講義を通して、以下の観点での理解度を評価する。

- 1) ベンチャービジネスの基礎知識の理解
- 2) 起業家精神についての理解
- 3) ワークショップでの貢献度

【オフィスアワー：授業相談】

産学官等連携推進本部客員教授の竹内利明及びT T Aが対応する。  
共同研究センター302号室  
ベンチャービジネス特論の授業日：11時～13時  
その他、いつでもメールで予約して相談にきてほしい。  
takeuchi@crc.uec.ac.jp

【学生へのメッセージ】

ベンチャーを創業を考えている院生だけでなく、大企業への就職を考えている院生も履修することを勧める。理由は3つある。1. 大企業においても技術者が技術だけを考えていることは出来ない時代を迎えている。企業が求めるものは事業化を前提とした研究開発であり、商品化である。ベンチャーにおける開発から商品化までの手法から学ぶことは多い。2. リスクのある研究開発を担う主体が大企業からベンチャーに移る傾向がある。大企業はリスクの高い研究開発ができなくなり、それをベンチャーが担い、成功が見えた段階で大企業が買収するケースが増えている。そこで、大企業に就職してもベンチャーの経営等の実情を理解して、評価できることが求められる。3. 本学卒業生は、企業において、真面目で優秀な技術者と評価されている傾向が強い。従って、大企業に就職して10年程度するとベンチャー創業に加わることを誘われるケースが多い。その際に、ベンチャー経営における諸問題に対する基礎知識がないために、成功するうえで、大きな役割を果たしながら、報われないケースが見られる。従って、ベンチャービジネスの基礎知識は大企業に就職する場合も重要になる。

【その他】

ベンチャー創業を目指している学生の相談を歓迎します。事業計画が出来ていなくても結構ですので、早い段階から相談に来てください。  
学生起業家選手権（東京都）、キャンパスベンチャーグランプリ（東京）などに出場を希望する学生は、個別に支援しますので、相談してください。なお、提案する事業内容が決まらない段階でも結構ですので早めに一度相談してください。